



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション  
 コード番号 8194 URL http://www.lifecorp.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 清水 信次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部副本部長 兼 財務本部長 (氏名) 内田 良一 TEL 03-5807-5542  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	432,221	9.3	6,525	30.4	6,559	29.7	3,387	25.9
26年2月期第3四半期	395,298	2.3	5,005	17.3	5,057	20.3	2,689	32.1

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 3,490百万円 (11.9%) 26年2月期第3四半期 3,118百万円 (59.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	69.43	—
26年2月期第3四半期	51.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	214,256	49,850	23.3	1,064.73
26年2月期	186,079	55,380	29.8	1,060.89

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 49,850百万円 26年2月期 55,380百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	12.50	—	12.50	25.00
27年2月期	—	12.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575,000	7.5	9,050	18.5	9,000	16.8	4,350	14.5	90.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	53,450,800株	26年2月期	53,450,800株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	6,631,291株	26年2月期	1,248,754株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	48,796,393株	26年2月期3Q	52,406,647株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価と実体経済がかい離し、個人消費の回復に足踏みがみられ、企業の業況判断も全体としては慎重さがみられます。こうした中で大企業と中小企業の収益改善格差、都市部と地方の景気回復実感格差等の課題が顕在化しつつあります。また、円安による物価上昇圧力があるものの消費者物価は上昇基調が鈍化し、足元では横這い傾向で推移するなど不透明要素もあり、景気の先行きは楽観できない状況にあります。

流通業界におきましては、消費マインドの低下や景気の先行きに対する不安から生じる生活防衛意識、消費の二極化など、複雑化する消費者の購買意識・行動への対応を更に進化させていくことが求められており、企業間の競争はますます激しくなっております。また、有効求人倍率の上昇には一服感がみられますが、小売業が直面する人手不足問題は深刻化の一途を辿っており、企業運営を圧迫し始めているだけでなく、地価や建築コスト等の上昇も加わって新規出店戦略にも影響を及ぼしております。

こうした厳しい経営環境下、当社グループは『お客様からも社会からも従業員からも「ライフっていいねえ!」と言われる会社の実現』に向けて、平成24年度よりスタートした「第四次中期3ヵ年計画」の最終年度として「出店」、「商品」、「顧客満足向上」、「次世代対応」及び「コスト適正化」の『5つの戦略』と『働き方の改革』における各種施策の積み残し課題を解決するとともに、平成27年度より新たにスタートする「第五次中期3ヵ年計画」の策定に向け、「スピード」と「連携」を意識し、全従業員が「能動的」に行動して「結果」を出すべく、引き続き取り組んでおります。特に当第3四半期連結累計期間においては、新規出店戦略に加え、既存店舗の改装も引き続き積極的に実施することでお客様の利便性向上を図るとともに、埼玉県吉川市に開設いたしましたベーカリーセンターより、9月から新たに店舗へ原料の供給を開始し、より鮮度の高い商品作りにも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間に新規店舗として、3月に堺駅前店（大阪府）、4月にココネリ練馬駅前店（東京都）、ポンテポルタ千住店（東京都）、5月に東五反田店（東京都）、7月に錦糸町駅前店（東京都）、玉造店（大阪府）、11月に宮内二丁目店（神奈川県）、セントラルスクエア北島店（大阪府）、戸塚汲沢店（神奈川県）の9店舗を出店するとともに、既存店舗につきましても、仲宿店、新大塚店、平和台店、関目店、亀戸店、西大橋店、正雀店をはじめ合計15店舗を改装いたしました。

当社グループの業績につきましては、消費税率引上げの影響による落ち込みが想定より小さかったことや、新規店舗及び既存店舗の改装が寄与したことに加え、売上拡大・客数増加に向けた販売促進の各種施策により、営業収益は4,322億21百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。利益面につきましては、電気料金値上げによる経費増や新規・改装店舗の償却費、一時経費の増加等がありましたが、諸コストの適正化により経費増の圧縮に努めた結果、営業利益は65億25百万円（前年同四半期比30.4%増）、経常利益は65億59百万円（前年同四半期比29.7%増）、四半期純利益は33億87百万円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

部門別売上高は、生鮮食品部門が1,707億9百万円（前年同四半期比12.0%増）、一般食品部門1,816億10百万円（前年同四半期比9.3%増）、生活関連用品部門387億23百万円（前年同四半期比6.4%増）、衣料品部門214億88百万円（前年同四半期比0.3%減）、テナント部門76億30百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、2,142億56百万円と前連結会計年度末に比べ281億76百万円増加いたしました。

流動資産は、639億24百万円と前連結会計年度末に比べ197億72百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金が前連結会計年度末に比べ180億24百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、1,503億31百万円と前連結会計年度末に比べ84億3百万円増加いたしました。これは主として有形固定資産が減価償却後、前連結会計年度末に比べ88億69百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1,644億5百万円と前連結会計年度末に比べ337億6百万円増加いたしました。これは主として買掛金が前連結会計年度末に比べ310億80百万円、流動負債その他が166億4百万円増加し一方、短期借入金及び長期借入金の合計が151億42百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、498億50百万円と前連結会計年度末に比べ55億30百万円減少いたしました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度末に比べ21億50百万円増加し一方、自己株式が77億83百万円増加（純資産は減少）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年10月8日に発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

なお、今後事業環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,928	26,952
売掛金	357	1,662
商品及び製品	21,072	22,176
原材料及び貯蔵品	106	101
その他	13,695	13,034
貸倒引当金	△8	△2
流動資産合計	44,151	63,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,031	65,802
土地	23,808	24,170
その他(純額)	14,580	16,316
有形固定資産合計	97,419	106,289
無形固定資産	2,399	2,319
投資その他の資産		
差入保証金	26,957	25,975
その他	15,188	15,789
貸倒引当金	△36	△41
投資その他の資産合計	42,109	41,722
固定資産合計	141,928	150,331
資産合計	186,079	214,256
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,988	62,068
短期借入金	30,964	11,304
1年内返済予定の長期借入金	10,102	9,849
未払法人税等	1,517	2,234
賞与引当金	1,956	440
販売促進引当金	2,081	2,328
その他	14,813	31,418
流動負債合計	92,422	119,643
固定負債		
長期借入金	20,354	25,125
退職給付引当金	4,524	4,467
役員退職慰労引当金	350	351
資産除去債務	3,175	3,649
その他	9,871	11,169
固定負債合計	38,276	44,762
負債合計	130,699	164,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	11,475	11,475
利益剰余金	35,605	37,755
自己株式	△2,134	△9,917
株主資本合計	54,950	49,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	658	761
土地再評価差額金	△229	△229
その他の包括利益累計額合計	429	532
純資産合計	55,380	49,850
負債純資産合計	186,079	214,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	384,166	420,162
売上原価	280,041	306,070
売上総利益	104,124	114,091
営業収入	11,131	12,059
営業総利益	115,256	126,150
販売費及び一般管理費	110,251	119,625
営業利益	5,005	6,525
営業外収益		
受取利息	158	153
受取配当金	123	65
その他	277	255
営業外収益合計	560	474
営業外費用		
支払利息	423	357
その他	84	83
営業外費用合計	507	440
経常利益	5,057	6,559
特別利益		
固定資産売却益	149	—
特別利益合計	149	—
特別損失		
減損損失	189	235
転貸損失	0	209
固定資産除却損	110	204
店舗閉鎖損失	144	15
その他	—	2
特別損失合計	444	667
税金等調整前四半期純利益	4,763	5,892
法人税、住民税及び事業税	2,604	3,400
法人税等調整額	△531	△896
法人税等合計	2,073	2,504
少数株主損益調整前四半期純利益	2,689	3,387
四半期純利益	2,689	3,387



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,689	3,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	102
その他の包括利益合計	428	102
四半期包括利益	3,118	3,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,118	3,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、平成26年4月16日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として、自己株式の公開買付けを行うことを決議し、自己株式を取得しました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式は7,783百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において9,917百万円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品を中心に生活関連用品及び衣料品等の販売を主体としたスーパーマーケットを経営する小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。